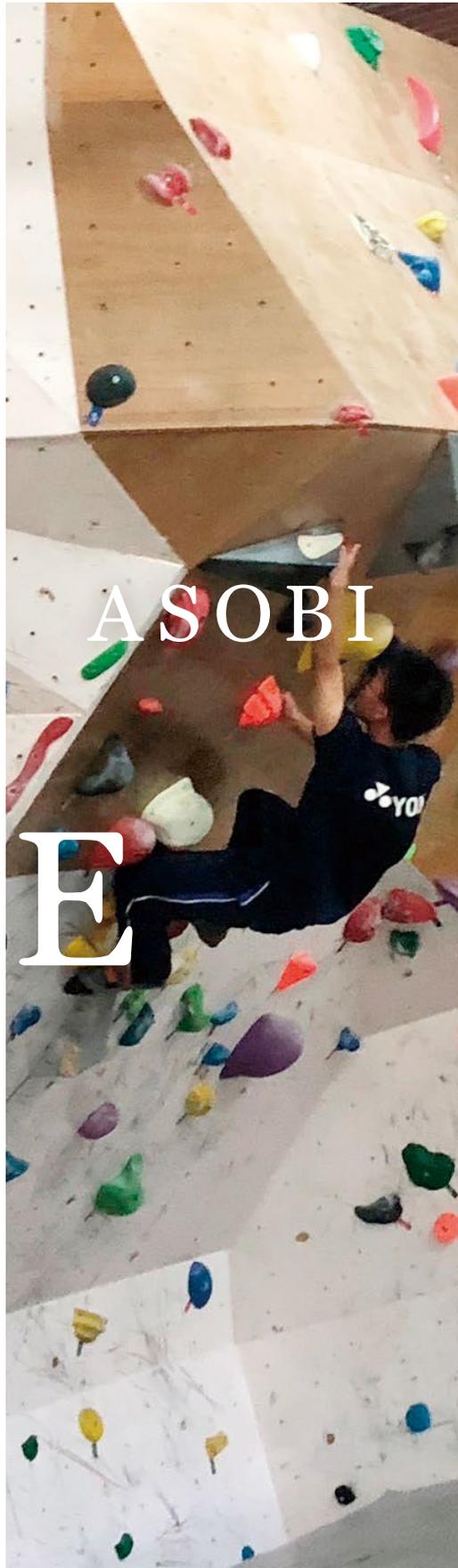
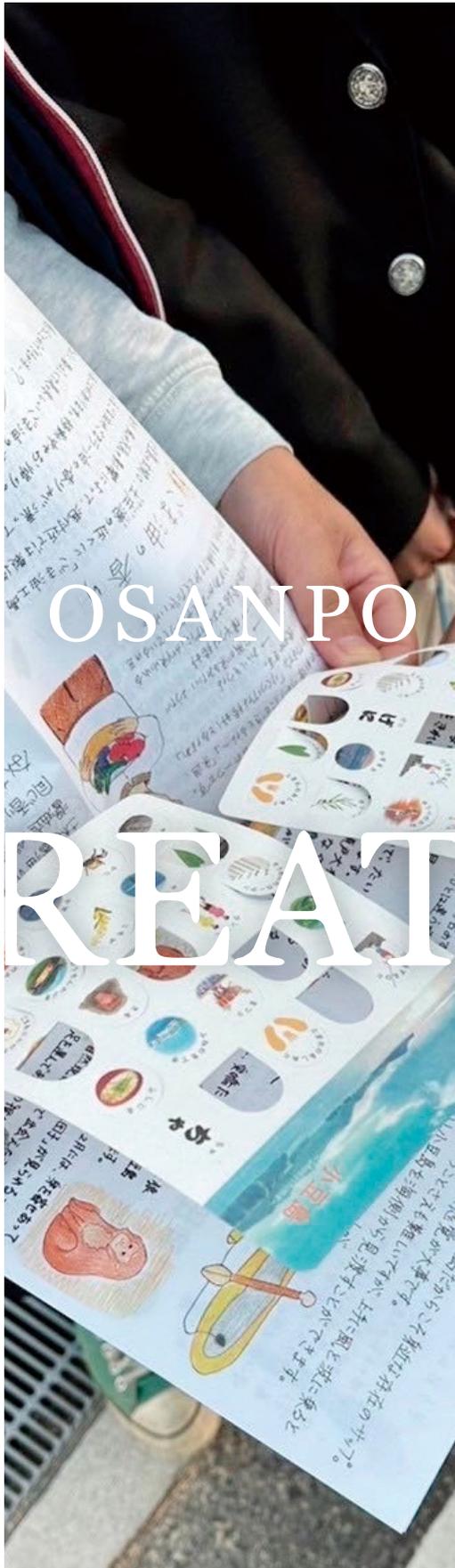


しまいろ

SHIMAIRO

No. **7**
2024 spring

小豆島の
高校生たちがつくる
小豆島のための
フリーペーパー



AKIYA

OSANPO

ASOBI

CREATE

おさんぽ BINGO®-小豆島-で しまの魅力をみつけた!



わたしたちは“おさんぽBINGO®”を通して
次の2つのことを目指しました!

- ①自然を中心とする島の魅力を再発見してもらう
- ②小豆島のゴミ問題に注目してもらう

そこで企画したのが、

『高校生とおさんぽBINGO®で 君も島博士になろう!』

という、おさんぽ企画!たくさんの親子と高校生と一緒に
なって、小豆島の魅力を探すおさんぽに出かけました!



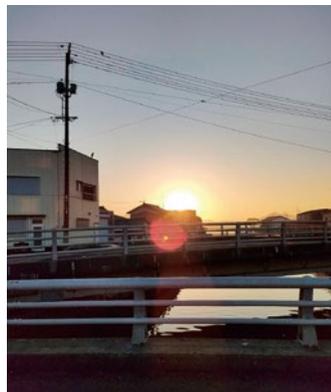
小豆島町!

Wow!?



きれいな夕日

午後からの小豆島町の道中では、きれいな夕日を楽しむことができました。「おさんぽBINGO®-小豆島-」にも“夕日”のアイコンがあり、参加してくれた子どもたちもその景色を楽しみながら、ビンゴのアイコンを開けることができました。みんなで見る夕日は「もう一度ここで散歩したい!」と思わせてくれる鮮やかで美しいものでした。



この辺かな?!



よく見た景色



小豆島町のコースではオリーブをよく見かけました。やはり小豆島の特産品であるため、いたるところにオリーブ畑やオリーブの植木鉢があり、見つけるたびに子どもたちが歓声をあげていました。

小豆島町の魅力

夕日や醤油の木桶、オリーブ畑などたくさん見所がありました。子どもたちが魅力を教えてくれて、私たち高校生にとっても新たな発見がありました。住民のあたたかな人柄も魅力です。



醬の郷周辺エリア

新発見!



土庄町!

こんなところに!



かがやく水面

午前の土庄町では、土庄港をスタート地点としており、道中どこからでも海を見ることができました。太陽の光が水面を照らしてきらきらと輝き、美しかったです。また、海を取り囲む緑など、「おさんぽBINGO®-小豆島-」には載っていない小豆島の魅力も発見することができました。参加してくれた方々と一緒に私たちも楽しむことができ、本当にいい思い出になりました。



あれかな?



土庄港周辺エリア

よく見た景色

土庄町のコースでよく見かけたのは、やはりオリーブでした。特に公園には多くのオリーブが立ち並んでおり、子どもたちは“ハートのオリーブの葉”を探すことを楽しんでいました。



土庄町の魅力

土庄町では、豊かな自然の中に、オリーブの木がたくさん植えられた公園や小豆島をモチーフにしたアートなどたくさんの魅力が見つかりました。海やとんびといった自然に触れながら、お店でちょっと一息つける場所も魅力です。



“おさんぽ”でできる2つのこと

01

次世代へ伝えるしまの魅力



今回多くの子どもたちが企画に参加してくれました。小豆島がもつたくさんの魅力を、次の世代につないでいきたいです。

02

わたしたちが守るしまの魅力



今回おさんぽする中で、たくさんのゴミを拾いました。小豆島の美しさを守ることができるのは、私たち島民なんだと改めて感じました。

この企画を進めるにあたって、両町役場や地域団体など多くの方々のお力添えをいただきました。その中で、地域のことを地域全体で考えていくことの重要性に気がつくことができました。私たちの小豆島の魅力を、もっと発信・保全していくために、私たち島民が一丸となっていきたいと思っています。私たちの活動に賛同いただき、ご協力くださったみなさん、本当にありがとうございました!



「おさんぽBINGO®-小豆島-」は、小豆島中央高校と一般社団法人3710Lab、広告制作会社サン・アドによる文具ブランド「ブンケン」とのコラボレーションで制作。本企画は、瀬戸内4県と日本財団が推進する海洋ごみ対策プロジェクト「瀬戸内オーシャンズX」の一環です。

ありがとうございましたー!



ボルダリング場に交渉

まず、自分たちでボルダリングを行いたい日時、どのような目的でボルダリングを行うのか、参加人数などを班のみんなで話し合い考え企画書を作成しボルダリング場に提出しました。自分たちが伝えたいことを相手に分かりやすい文章にするのはとても難しかったです。



STEP
04

第2の遊び決め

私たちは第二の遊びとして「学校かくれんぼ」を計画することにしました。そのためにかくれんぼのルール、安全面を考えました。ルールを考える過程ではより面白くするために何度も何度も話し合い、修正を加えてより良いものにしていきました。また安全面ではまだ不十分な所が多く、これから参加者がケガなく安全にイベントに参加できるように改善策を考えていきたいと思います。



STEP
03

いざボルダリング!

施設の方にボルダリングのやり方、注意点を教えて頂きいざ実践!! 難易度別のコースがあり自分に合ったコースを見つけて楽しむことが出来ました。ボルダリングにはスタートとゴールがあったり決められたホールドだけを使って登ったりとただ登るのではなく考えながら登らないといけないということが分かりました。



私たちの今後の目標

1. 二つ目の遊びを企画し実施すること。
2. 企画実施のための情報収集を行うこと。
3. 島高生の中から十分な人数の参加者を集めること。
4. 全員が楽しめる企画にすること。

これらを今後も頑張っていきたいと思います。

ENJOY





小豆地域では、
空き家の増加が地域の課題となっています。

『空き家ーズ』とは、建築に興味があったり、地域の空き家問題の現状を変えていきたいという強い意志があったり、実際に改装された空き家を見て魅力を感じたりした高校生が集まってできた集団のことです。このような強い思いを持っていた私たちは何度も話し合いを重ね、自分たちの考える理想をふんだんに詰め込んだ「空き家プランニング」を実施しました。大人の方々のご協力もいただき、高校生ならではの多様な視点を生かして活動することができたと思います。

次に地域の空き家を実際に内見し、この空き家を参考にしながらどのような間取りや部屋を作るかの具体案を練りました。さらなるアイデアや発想を得るため、2022年の瀬戸内国際芸術祭作品でもある「小豆島ハウス」の見学をさせていただき、空間を広く見せる工夫や、元の構造を活かすことの重要性を学びました。

そしてついに模型の制作を開始！部屋の用途に合った壁紙の色を選択したり、手作業や3Dプリンターで作った家具を配置したり、人物を配置することでよりリアルな動線イメージを表現したりと、とても楽しい作業でした。

このような貴重な楽しい経験をするのができてとても嬉しいです。



壁紙を青にして集中しやすい環境にした自習室



完成した自分達の模型を眺めている図



若者が集まりたくなるようなカラオケ室



机を囲んでみんなで教え合いができる自習室



心と体のリフレッシュができるサウナ



ゆっくりしながら人と交流ができる部屋

03 小豆島ハウス見学



02 モデルにする地域の空き家見学



01 プランニングの方向性決め会議





何があったら良いのか、快適に過ごすことができるのかを考えながら部屋を創るのが楽しかったです。
赤松 功多朗



どういう目的でその部屋を使うのか、どうしたら使ってくれるのかということを考えるのがとても楽しかったです。
濱中 心奏



もし自分たちが使うならこうしたい!と思ったことを形にすることができて楽しかったです。
川崎 璃子



今回の行動を起こしたことによって問題解決への一歩へと踏みだせたと思います。将来的にも仕事を通して関わりたいです。
鈴木 希空



このプロジェクトに参加して空き家の見学など初めての経験ができて楽しかったです。
山下 未鈴



このプロジェクトに参加することで、小豆島の未来について考えられてよかったです。
諸石 知宙



空き家の現状や改装の仕方についてくわしく学ぶことができてよかったです。
中村 心香



自分達のアイデアが空き家問題を解決する一手になるワクワク感が楽しかったです。
山角 優羽奈



空き家プランニングが少しでも島の問題解決に繋がってくれたら嬉しいです。
岸田 優果



一緒につくりました! Supporters



大塚 一歩
NPO法人トティエ



山本 貴之
小豆島町地域おこし協力隊
空き家コーディネーター



大須賀 高幸
小豆島町地域おこし協力隊
空き家コーディネーター

「コロナ」で活動がしにくい年が続きましたが、ようやくインプットとアウトプットが良いバランスで活動ができました。また、今年の企画は完全に生徒発案! エクセレント!

高校生の「あったらいいな」が凝縮された空き家改修プランができました。若者ならではの視点からのワクワクするアイデアに触れ、学びと良い刺激になりました!

「ここで何をやる?」からはじまり、間取りから壁の素材、家具のサイズや配置、ついには目玉焼きの形まで。生徒たちが智恵を寄せあって考え、創りあげた力作がついに完成!

06 リアルさを演出する家具設置



05 部屋の用途に合わせた着色考案



04 理想たっぷりの模型作り開始



しまいろ

あそび班



あそび班は小豆島の廃屋を活用したボルダリング施設でボルダリングを体験し、家族や友達、SNSを利用して体験した内容を発信しました！



ボルダリング場の中はこんな感じ！



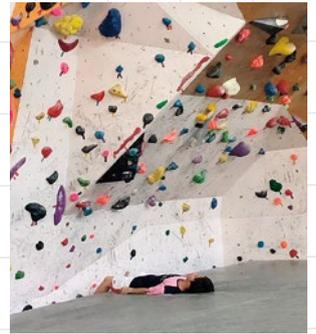
頑張って上まで登るO君



腕の筋肉が限界突破



なんでそこまでいけるの？



無事落下したY君

空き家ーズ!!

空き家見学



いろんな工夫を
発見しました!!

小豆島ハウス見学



部屋が広く見える!!



模型作り



私たちは空き家などの見学の様子やそこで学んだことを活かした模型作りの様子をSNSを通じて発信しました！

完成 ✨

クリエイターチーム



今年度は全チームに配属してみた。

おさんぽBINGO®チーム

私たちはおさんぽビンゴに関する事を写真を撮り、主にインスタを使って発信しました!

フレトピアフェア出店の様子



子ども向けにおさんぽBINGO®ツアーを企画しました



おさんぽ企画の様子



おさんぽ中は高校生と一緒にビンゴに描かれているものを探しました

ツアーで使われたおさんぽBINGO®!



人手について

小豆島は少子高齢化で人手が足りず、解決策に香川大学の人々への貸し出しや田植え体験で若い人たちに田植えの魅力を感じてもらおうとしています。香川県外の人たちにも呼びかけて小豆島に来てもらい、棚田の田植えを手伝ってもらい、棚田の活性化を目指しています。



おさんぽ

定時制
PRESENTS

中山

新年もちつき大会で
地域の人と



私たち定時制は校外学習で小豆島町の中山地区を散策し、中山地区の自然や伝統などの魅力について学習しました。私たちの身近にある「いいもの」を紹介するとともに、これからも残していくために必要なことを考えました。

- 神社
- 寺院
- 駐車場
- トイレ
- 手すり・石段
- 急坂・急勾配
- 散策路
- 関係車両以外駐車禁止
- 関係車両以外通行禁止



保護活動

ホタルは、水がきれいで、水流も穏やかで、木々もたくさんあるなど、環境が整っていないと住めないそうです。また、幼虫が水中で流されないように穴を作っています。



感想

思ったよりもホタルがたくさんいたので、保護活動を私たちもしたいと思い、改めてホタルについて調べました。「ゲンジボタル」「ヘイケボタル」は昔からある出来事から由来されているそうなので、昔からホタルは、日本の方々に愛されているんだなと思いました。



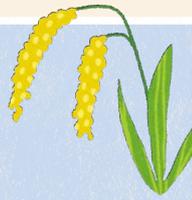
● 中山

池田港から自動車です10分 土庄港から自動車です15分
 オリーブバス 中山線に乗車「春日神社前」下車



ホタル

中山千枚田



棚田とは…?

棚田は山を切り開いて人間が作った自然と言われています。あぜがあり、たっぷりと水をため、ゆっくりと流し出す水田だからこそ、地滑りや洪水を防いで水を蓄えて気温の調節をしたり、水や空気をきれいにしたりする効果があると言われています。



なぜ名水百選に選ばれたのか？

寒暖差にも耐えたり、水を綺麗にしてくれる生き物がいるから題名にある通り、名水百選に選ばれたそうです。



舞台装置について

舞台装置は、客席から舞台に向かって右側を上手（かみて）、左側を下手（しもて）にします。昔は身分の上の人が上手に座し、身分の下の人が下手から登場したそうです。道具は屋内が上手に屋外は下手になるよう作られています。また、作品が演じられるなかでの方角も定まっています、上手が東、下手が西、客席側は南とされることが原則となっています。



有名な作品 白波五人男



感想

今回の中山訪問で中山の自然の美しさ、そこに存在する中山農村歌舞伎舞台、これは本当に小豆島が誇るすばらしい伝統だと心から思いました。

農村歌舞伎



農村歌舞伎



權風 (かいふう)

授業 でありながら、“答え”がない。
でありながら、教室から飛び出す。
地域の大人と社会を学ぶ、小豆島中央高校だけの授業。

Standard スタンダード



Program 01

地域の大人とつながって、地域の課題を知り、その解決方法について考察します。両町役場や中小企業家同友会、その他多くの地域団体の協力を得て、今年も高校生が小豆島の未来を考えました。



Program 02

1年生では、地域の現状について考えます。
「小豆島の課題って何だろう？」



Program 03

「小豆島のゴミ問題、どうすれば解決できる？」
2年生になると、具体的な課題について、お互い意見を出し合って、解決策を考えます。



Program 04

教室から飛び出し、実際にやってみる！
地域の方々が力を貸してくれるから、生徒の「やってみたい」を実現することができます。

生徒の声



1年 枝松 花恋

小豆島が人気になるために何をしているか、調べたり考えたりしています。その中で小豆島のために私ができることを考えるようになりました。



2年 角田 侑介

權風では、小豆島の課題について意見を交わし合っています。その中で、小豆島の新しい魅力が見えてきて楽しいです。

しまのみらいプロジェクトだけじゃない——
 地域と高校が協働して創り上げる教育プログラム
 「權風」には、まだまだ魅力がいっぱいです!!

Plus One

プラスワン



Program
02

穴吹学園による専門職講座。興味はあるけどなかなか触れられない専門職の世界をのぞき見します。



Program
01

国民宿舎小豆島で働く木下さんによる、魚の血抜き技法「津本式」講座。普段なかなか触れることができない世界に触れられる…それが「權風ゼミ」!



Program
04

小豆島町役場商工観光課による「ふるさと村ミライサロン」。ふるさと村の新規事業を大人と一緒に考えました。



Program
03

小豆島町役場高齢者福祉課による「小豆島のおじいちゃん、おばあちゃんの秘密」講座。生徒の視野が広がります。

全部で11の講座を開設

- ・英会話クラブ (小豆島町地域おこし協力隊)
- ・魚のさばき方教室 (小豆島町役場農林水産課)
- ・やわらかい専門職の世界 (穴吹学園)
- ・韓国交流 (ウンソン高等学校)
- ・朗読劇 (一般財団法人人間塾)
- ・教職説明会 (香川県教育委員会)
- ・君たちはどう働くか (しまのみらいプロジェクト)

生徒の声



2年 金岡 紗希

ふるさと村ミライサロンに参加して、もっと島をよくしたいと思えたと、この貴重な経験を通して、他の様々なことにも関心がもてるようになりました。

活動を終えて

十色 後書



あとがきといろ

空き家プランニング・クリエイターチーム 1年 濱中心奏	空き家を見学して、今の空き家問題について知ることができました。空き家を使った場所を考えることによって、来る人たちがどうしたら楽しめるか考えることができ楽しかったです。
おさんぽビンゴチーム 2年 藤田 夏菜子	昨年度と同じく、おさんぽビンゴチームに所属して活動しました。チームのみんなと活発に意見を出し合い、自発的に活動できました。小豆島がさらに大好きになりました。
おさんぽビンゴチーム 2年 今城 杏	昨年度に引き続きおさんぽビンゴチームで活動をしました。商品を広めるにはどうすればいいか、商品を売る時とは違う目線で仲間とよく探究することができました。
おさんぽビンゴ・クリエイターチーム 2年 竹田 有晴	活動を通して多くの人と関わることができ、貴重な体験をたくさんしました。また、ツアーでは島の人と一緒に島の良さを再発見することができ、とても楽しかったです。
おさんぽビンゴチーム 2年 石井 夢奈	このチームでたくさんの方々と関わり合いながら島の魅力を再発見することができました。これからも私なりに島の魅力を見つけ、伝えていきたいと思います。
おさんぽビンゴチーム 1年 芝寄 瑛菜	活動に参加したことで小豆島の魅力を子どもたちに伝えることができました。しまいろを通して多くの人に伝えられたらと思います。
おさんぽビンゴチーム 1年 倉橋 摩衣	おさんぽビンゴの活動を通して、たくさんの人に商品を手に取ってもらえるようにアピールする大変さを、学ぶことができました。
おさんぽビンゴ・クリエイターチーム 1年 兒島 静香	この活動を通して、たくさんの方々の経験ができました。自分が知らない小豆島の魅力にも気づくことができたので、もっとたくさんの方に島の魅力を知ってほしいです。
あそび班・クリエイターチーム 2年 山本 悠以	今年は活動のリーダーとなって、悪戦苦闘しながら他のメンバーを導くことができました。ここでしか経験できないことを数多く経験することができ、自分の成長に繋がったと思います。
あそび班チーム 2年 平林 颯真	自分たちで企画書を作成し、ルールを考えることなどがたくさんありました。自分も大きく成長させ、視野を広げることができました。
あそび班チーム 2年 小野 智央	昨年に引き続きこのプロジェクトに参加しました。今年は遊びを通して島の魅力を発信することを目標に活動しました。ここでしかできない体験が多く、とても楽しかったです。
あそび班チーム 2年 木下 颯人	今年は去年と違い、考えることが多かったと思います。この考えたことが未来につながり、遊びを通して島の魅力が伝わってほしい取り組みました。人生初の経験で難しかったことも多かったですが、自分を成長させることができました。
あそび班チーム 2年 高岡 董	活動を通して自分たちでイベントを企画・運営することの難しさを学びました。思い通りにいかない事がたくさんありましたが普段の学校生活ではできない事ができてとても良い経験になりました。
あそび班チーム 2年 高橋 歩武	僕は二年生からこの活動に参加することになって不安だったのですが、活動するうちに、問題の解決を考えるのが大変だったけどその分楽しさもあっていい経験になりました。
あそび班チーム 2年 浦山 累	僕は二年生になって初めてこの活動に参加しました。遊び班でたくさん意見を出して、それがいいものになるにはどうすればいいか考えることが楽しくて、いい経験になりました。

空き家プランニングチーム 2年 山角 優羽奈	空き家のプランニングを通して、自分達のアイデアが形になっていくことのおもしろさを体感できました。このような貴重で楽しい経験をすることができてとても嬉しいです。
空き家プランニングチーム 2年 山下 未鈴	この活動を通して、小豆島が抱えている課題に向き合い、私たち高校生だからこそできる対策を考えることができました。とても良い経験になったと思います。
空き家プランニングチーム 2年 岸田 優果	空き家見学をしたり改装された建物を見たりして、改めて島について知ることができてすごく良い経験でした。将来私たちがしたプランニングが実現されたいなと思いました。
空き家プランニングチーム 2年 中村 心香	小豆島の空き家の現状を知ったり改装の仕方を学んだりできてとてもいい経験になりました。この経験を将来にも活かしていきたいです。とても楽しかったです。
空き家プランニングチーム 2年 諸石 知宙	小豆島の問題についてしっかり考える機会になりました。実際に模型を作るのは初めてですごく楽しかったです。この活動で小豆島の未来を少しでも良くできたらと思いました。
空き家プランニングチーム 2年 鈴木 希空	今回、行動に移すことによって問題解決への一歩を踏み出せたと思いました。将来的にも仕事を通して関わりたいです。
空き家プランニングチーム 1年 赤松 功多朗	空き家を実際に見て、イメージを膨らませることから始まりました。僕は主にカラオケルームを考えました。何があったらいいのか、快適に過ごすことができるのかを考えるのが楽しかったです。
空き家プランニング・クリエイターチーム 1年 川崎 璃子	小豆島で実際に問題視されている空き家について考えるきっかけとなりました。ただ空き家を使うだけではなく、自分たちなりのニーズを考えながら取り組むことができてよかったです。
空き家プランニングチーム 1年 塩見 侑子	空き家見学や模型作成を通して空き家問題について改めて考えることができて、すごくいい経験になりました。このプロジェクトが小豆島のよりよい未来に繋がるといいと思いました。
空き家プランニングチーム 1年 高橋 蒼依	空き家グループで活動してみて、生徒一人一人が意見を出し合って、大人の力を借りつつ自分たちの力で様々なことを行っていったので、とてもやりがいがありました。

香川県立 小豆島中央高等学校 教諭 岡橋 優希	仲間と協力して自分たちの地元PRに取り組む姿はとても輝いていました。みんなの活動を見て、私自身も小豆島の新しい魅力を発見できました。これからも応援しています。
しまのみらい プロジェクト会長 (株式会社DaRETO) 城石 果純	しまみら1期生が島に戻って就職し、既に島を支えてくれている事を嬉しく思っています。いつも、皆さんを応援しています。今までありがとう!がんばれ!!
しまのみらい プロジェクト副会長 (NPO法人トティエ) 大塚 一步	[空き家プランニングチーム担当] 「空き家活用プランをやりたい!」という熱意をきっかけに今まで以上に充実した1年でした!小豆島町地域おこし協力隊の大須賀さん・山本さんにもご協力いただき、感謝!!
しまのみらい プロジェクト (社会福祉法人 サンシャイン会) 川西 剛	[クリエイターチーム担当] 今年度のクリエイターチームは初めて各チームに横断して活動出来ましたね。メンバーが発信意識を持って頑張っていて写真や動画を撮ることが出来てとてもよかったです。
しまのみらい プロジェクト (マルシマ印刷株式会社) 島 啓	学業や部活動、そしてしまみらの活動を通して実りある1年であったと思います。私も元気をもらいました。本当に1年間お疲れ様でした!
しまのみらい プロジェクト (neutral cafe FINE) 南川 慶子	[おさんぽBINGO®チーム担当] 新たな事を生み出していく過程や、諦めない姿勢、どうやったら実現可能かという事を一緒に模索しながら達成できた事、とても嬉しく思います。みんなとっても素敵でした!
土庄町役場 地域おこし協力隊 (子育て移住・空き家 コーディネーター) 堀川 愛理	「小豆島の魅力をもっと知ってほしい。」ふるさとを想い、行動する高校生の姿に心動かされました。可能性は無敵大!これからもあなたらしく羽ばたいてね!
小豆島町役場 地域おこし協力隊 山本 貴之	[空き家プランニングチーム担当] 実際の空き家をモデルに活用のアイデアを出し合い、プランを1つにまとめあげ、皆で役割分担しながら模型を完成させました。チームワークが素晴らしいです!
小豆島町役場 地域おこし協力隊 大須賀 高幸	[空き家プランニングチーム担当] 高校生との模型づくりは私も初めてで、最初はこちらで全て指示していましたが、最後は自発的に家具を作り出して驚きました。頼もしい学生たちとまた協働したいです。
小豆島町役場 地域おこし協力隊OG 大和 美祈	メンバーの皆さんが形にしたものや活動された時間が、皆さんの将来の糧になり、そして小豆島のみに繋がると思います。一年間、お疲れ様でした!

あそび班・ クリエイターチーム 1年 秋井 息吹	今年初めて島の未来プロジェクトに参加してただ遊ぶだけではなくしっかり考えて行動することができました。これからも頑張っていきたいです。
あそび班・ クリエイターチーム 1年 上川 礼華	しまのみらいプロジェクトの遊び班として、イベントを考える側の考え方を知ることが出来ました。問題の解決策を考えたりすることが楽しかったです。
あそび班・ クリエイターチーム 1年 阿治 さくら	このチームに参加して、一般的な遊びを全員が楽しめるように遊び方を工夫することが難しかったです。ですが、みんなで意見を出し合ったり、修正したりして新しい遊び方を考えることが楽しかったです。
あそび班チーム 1年 山本 奈々	今回、初参加で企画にはなかなか携われませんでしたでしたが先輩方が考えてくれた遊び企画で楽しむことができました。これからは自分も積極的に意見を出せるようにしたいです。
あそび班チーム 1年 岡本 萌夏	しまのみらいプロジェクトの遊び班に参加して、イベントの計画を立てる時にみんなが楽しめるようにするにはどうしたらいいのか考えるのが難しかったです。
千枚田チーム リーダー 4年 榎原 恋歌	棚田についてのメリットやデメリットなど、様々な魅力に気づくことができました。小豆島の魅力の一つとしてこれからも守って行かなければいけないと再確認できました。
農村歌舞伎チーム リーダー 3年 長田 魁斗	クラスで農村歌舞伎をしている生徒がいて、直接話を聞けたので、いろいろなことを知ることができました。もっと歌舞伎のことを知りたいと思いました。
ホテルチーム リーダー 2年 壺井 淳	ホテルについていろいろなことが分かりました。思ったよりも堂がたくさんいたことに感動しました。私たちが保護活動に積極的に関わりたいと思いました。
香川県立 小豆島中央高等学校 校長 長林 真司	「しまいろ07号」の刊行、おめでとうございます。そして、お疲れ様でした。教室を飛び出し、様々な体験を通じて豊かな学びを手に入れたしまみらメンバーの更なる活躍を期待しています!
香川県立 小豆島中央高等学校 主幹教諭 松井 和久	生徒たちのがんばりは見事でした。そして、活動を支えてくださった地域の方々には、感謝してもしきれません。みなさん、本当にありがとうございました。
香川県立 小豆島中央高等学校 教諭 岡田 二郎	地域の大人の力を借りながら、高校生が学校の枠を飛び出して、主体的に活動する姿が素敵でした。関わったすべての人に感謝です。ありがとうございました。
香川県立 小豆島中央高等学校 教諭 佐伯 健太	小豆島の課題に向き合い、若者らしい柔軟で新しい発想を生み出してくれています。これからも小豆島というフィールドを全面に使って皆さんの想いをもっと表現してください。
香川県立 小豆島中央高等学校 教諭 池本 健志朗	今年も小豆島全体を舞台に、たくさんの活動を展開してくれました。これからの小豆島の未来を切り拓けるのは、間違いなくみんなだろうと思います!楽しかった!ありがとう!
香川県立 小豆島中央高等学校 教諭 福田 朋美	「小豆島を遊び場として新しいイベントを企画する」と頑張る君たち。高校生のエネルギーと企画力に驚愕しました。小豆島の魅力の一つはパワフルな君たちです。ありがとう。
香川県立 小豆島中央高等学校 教諭 中石 友華	どうすればより良い企画になるか試行錯誤している姿はとても素敵でした。これからも小豆島のいいところを広めていってください。ありがとうございました!



しまの未来プロジェクト：活動趣旨

本活動は、教育、部活動に合わせて第3の価値として、高校生が主体となり、自ら考え、人・地域を巻き込みながら行動し、高校を卒業する前に小豆地域の魅力や地域とのつながりを大切にすることで、進学または就職後の進路に故郷である「小豆島」を選択肢として残してもらうきっかけになることを目的とする。



一般財団法人
三菱みらい育成財団

この冊子は三菱みらい育成財団の
助成により作成しています。

しまいろ

07号

香川県立小豆島中央高等学校

発行日：2024年3月
発行者：香川県立小豆島中央高等学校
しまの未来プロジェクト
印刷・製本 マルシマ印刷株式会社

